

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	こもりぐま			
○保護者評価実施期間	2026年 1月 9日		～	2026年 1月 23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数)	7人
○従業者評価実施期間	2026年 1月 9日		～	2026年 1月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数)	7人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 18日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さん一人ひとりの特性や発達に応じた支援を実施	全体で行うメインの活動に加えて、年齢や一人ひとりの発達に合わせた支援を行っています。日常生活の中で取り組める内容を設定し、成功体験を積み重ねながら成長できる環境を整えています。	定期的に振り返りを行い、お子さま一人ひとりの成長に応じてより良い支援が行えるように体制を整えていきたいと思っています。
2	朝から1日のお預かりで支援を行っている。	朝から1日お預かりして支援することでお子さんやその家族の生活リズムも整えやすく、就園・就学に向けて準備もしやすくなります。	保護者の方の気持ちや思いに寄り添い、不安や困りごとを減らせるようにしている。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流の面が不十分である。	今年度は畑にて栽培したじゃがいも掘りをイベントとし、利用者の方以外にも地域の方や同年代のお子さんに参加していただくように募集をし、実施をしたがその後のイベント実施には至らなかった。	今後は地域の方や同年代のお子さんが参加しやすいイベントを企画し、触れ合いの機会を設けていきたいと思っています。
2	ご家族に対してのペアレントトレーニングや家族へ向けての研修会ができていない。	現在、ペアレントトレーニングや研修を行える環境ではない。	今後、ペアレントトレーニングを行えるように職員間で研修等を行っていく。
3			